

阿南町社会福祉協議会

第120号

まめだかな？

長野県下伊那郡阿南町西條709 「おげんきサルビアの郷」内
TEL (0260) 22-3151

サルビア通信

笑顔と郷愁の
花祭り参拝

さくらさくらさくら

やよいの空は

見渡す限り・・・♪

花々があちこち咲き出すこの季節。お花見に行ってきました。正法寺の樹齢三百年と言われる満開の桜と四月八日「花まつり」お花でいっぱい飾られた花御堂という小さな御堂の中に誕生仏が安置されています。ご住職からは、「花御堂はお釈迦様が誕生の地ルンビニ園を、誕生仏はお生まれになってすぐ七歩あゆまれ、天と地を指し『天上天下唯我独尊』と言われたその姿を現します。

(以下二面に続く)



正法寺花祭り参拝



天上天下唯我独尊→

(一面からの続き)

お釈迦様の誕生を慶び、甘茶の産湯に浸かった様子を表して甘茶をかけるのです。そして生命の尊さを感じる日でもあります。」と説かれ、「本来は年の数だけ甘茶をかけるのですが、皆でやっている」と日が暮れてしまうので、今回は二、三回でよろしいかと思ひます(笑)「柄杓を使って誕生仏へ甘茶をかけ、皆さん手を合わせお参りしました。

「昔はサイダーの瓶を持って貰いに行つたんだあ」と懐かしさにひたりながら甘茶を召し



上がる方も。花見をしながら「さくら」を大合唱し、最後はサルビア恒例「バンザイ」で記念撮影。

かじかの湯では、沢山の桜やはなもが私たちを迎えてくれました。「わあー」「きれいだなあー」感激しながら、ここでも大合唱。歌い始めると、雨がポツポツ。「お花見なんだから大丈夫大丈夫！」とみんなで歌い続けるも大振りになってしまい…。でも、皆さんの素敵な笑顔に「バンザイ！」

佐々木 美喜

桜の下で
まめだかな体操



はじめはなあデイサービスなにやー
行きたくなかったんだが
まあ 来てみりやー楽しいわ



社協と伝統野菜の長い付き合いを総括する

和合元気な村づくり協議会「南信州おひとよし倶楽部」の市瀬光義さんとの対談を掲載します。

私たちが鈴が沢集落で伝統野菜の栽培を中心に展開してきた「生涯現役」の様々な実践的活動が、超高齢化社会での持続可能な生き方として高く評価され、農文協の農業雑誌「現代農業」2013.9月号に掲載されていますので、その一部を紹介します。『鈴が沢では「限界集落」と呼ばれるような厳しい条件の中で、集落の高齢者が特色ある農業と食文化の担い手となっている。農業という仕事は「生涯現役」が可能な仕事であり、農村の人のつながりと適切な支援があれば、充実した暮らしを生涯貫ける可能性があるのだ』そして「適切な支援の中心的役割」の必要性と人的支援を担ってきたのが社協の市瀬光義さんです。

右のメダルは社協が農業支援、療育音楽と言う特色ある取り組みに対して全国社会福祉協議会から表彰していただいたときのもので、社協の農業支援は当時の小林町長さん以下役場の担当者、県普及所の皆さんなど多くの方々の支援を受けて取り組んできましたが、あれから九年たちまして市瀬さんのご感想はいかがですか。

市瀬

九年たちましてね、一昔前、平成十七年頃ですが社協で『町の基幹産業である農業の多くが自給的農業や高齢者農業といった小規模農家であり、就業者の高齢化と共に地域には耕作をやるめる農家が増え、耕作放棄地が加速度的に進行していくありさまを注視していてねえ。そんな



中で「自らが喰うための自給活動をやめてしまえば、家を捨て施設や都会の子供のところへ行くしかない」という現実の光景を目のあたりにして、介護保険事業者として高齢農業者にもう一度自分の土地で踏ん張ってもらい、一日でも長く元気に働きたい、自宅の畳の上で、せめて自分の町で最後を迎えさせてあげたい、このために何ができるのか』避けて通れぬ課題を背負っていたんでね。

編集者

当時コモンズ支援金という制度が県に創設されてその助成金で事業を立ち上げたんですね。

市瀬

それはね地域に元気を取り戻すには『農業を現金に変える』ことで高齢農業者の農業離れを防ぎ、地域社会の疲弊、崩壊に歯止めをかけることが必要だとの方針だったんですよ。

編集者

確か様々な専門家を呼んで、どのような作物がいいのか皆で考えましたよね。その時の市瀬さんの提案が今につながっているんでね。

市瀬

私はね

- ① 地域に特化した高付加価値農作物の創出（アピオス）
- ② 地域資源の活用（鈴が沢の在来野菜）
- ③ 省力で易しい農業（米ぬか農法）の普及を柱とし、活動部隊として『南信州おひとよし倶楽部』をおいたんですよ。

編集者

その活動の中で鈴が沢に出会ったんですか。



受け継がれる鈴が沢分教場 伝統野菜の本拠地

市瀬

私はかつて和合で行われていた桑の実塾に参加したことがきつ

かけでした。

分校の庭でその時今も元気な西川さんに焼きナスをつくっていただいたことがきっかけですね、その時のナスがおいしかったこと、ここからはじまったんですよ。

当初より鈴が沢に生きる人たちの暮らしと、心によりよい「生きがいにつながる農業」の支援活動を行いながら、鈴が沢集落の伝統野菜栽培を中心に展開しつつ超高齢化社会での持続可能な生き方を模索してきました。

編集者

当時は社協自体も経営に対する様々な困難の中でご苦労をおかけしたことは私の中では当時の皆様に申し訳なかったと思うこともあるんですが、ふりかえって今の状況はいかがですか？

市瀬

伝統野菜の振興を担ってきた南信州おひとよし倶楽部は、当初から組織的にも資金的にも恵まれず、孤立無援の逆境の中で活動を余儀なくされてきました。そのため常に廻りの様々な

皆さんの協力と支援を頂きながら一歩一歩と歩む中から力をつけ這い上がってきた感じがします。

編集者

社協本体の経営単位としての農業支援の廃止、そこから就労センターでの障害者支援と農業での新たな挑戦、社協から就労センターが阿南学園に移行した中での新たな模索が続けている中で、「和合元気なむらづくり協議会」の発足で現在に至っているわけですが、市瀬さんがい

市瀬

今はね、町から派遣していただいた地域おこし協力隊のすべての皆さん、下伊那農業改良普及センターや下伊那地方事務所の農政課の皆さんや信州大学の

う時、感謝の気持ちで一杯になりますね。

編集者

前掲の現代農業での評価、全社協の月刊福祉、長野県の郷土雑誌クラ、教育関係の季刊誌や新聞社の皆さん、料理界の専門誌等

市瀬

町内ではね、伝統野菜の魅力や貴重な地域の資源であることに理解が広がらない現実がありますが、せめて伝承地の和合地区だけでも3株、5株と全戸が栽培し、食べ続けてもらうことが伝承への最も確実な道と考え、地域おこし協力隊で和合地区担当の飯野さんが栽培希望者の掘り起こしに頑張っていたいて

編集者

鈴が沢のナスとウリに続いて昨年はトウガラシも伝統野菜に選ばれましたね。

県の認定委員の皆さんはどのような方たちなんですか？

市瀬

長野県のホームページに出ますから誰でも容易に確認でき



鈴が沢分教場での認定委員会の現地調査の様子

ますがね、信大農学部の大井教授、長野県原種センター平井専務理事、株式会社社長印須坂青果市場の安部常務取締役、株式会社トマツの外松實社長、料理研究家横山タカ子さんに、今回は他にトウガラシ博士の信大の松島先生が特別に参加されました。

編集者

その皆さんが県の職員さんや普及所の皆さんと、この地に訪れたんですね（次号につづく）

傾聴ボランティア 講演会に参加して

阿南町ボランティア講演会



名前だけは聞いていた「傾聴ボランティア？」の講演を聞いて初めて本当の意味を知ることができました。

自分の五感をフルに使い、思いやりと温かい心で一生懸命聴く・聴きたいという態度と心が伝わって初めて傾聴が成り立つ事。

自分を無にして、相手の気持ちを感じ取る様に聴き、自分勝

手な思い込みや先走りをせず、相手の話を妨げない様に 只々聴くことのみ 誰でも、簡単にできそうに出来ていなかった事がわかりました。

これから、このような機会を設けていただき、ボランティア活動は、日常誰でもが出来る事なのだと言う理解を多くのの人に知っていただきたいと思います。

K・T

＊＊傾聴ボランティアの創始者鈴木絹英氏の講演会を社協では十年ほど前に行っていますが県内で実際に活動をしている長谷川氏の講演は阿南町内に新たにシニア層の活動の輪を作り上げていく参考になるものだと思います。

笑顔の輪を広げる傾聴の力

今回の主催は阿南町高齢者ふれあいサロン連絡協議会 社協と町が共催として平成二十七年三月十四日に行われました。

平成27年度事業計画の概要は以下の通りです

平成27年度は生活困窮者自立支援の本格施行や介護保険制度改正など福祉関係諸制度の各分野において大きな改革が行われます。社協としてこれらの制度改革に対応するにあたって、社協本来の使命として住民の個別のニーズにしっかりと向き合い住民や関係者との協働のもとや地域の生活課題・福祉課題や社会的孤立に対応していくことを求められるものであり、地域福祉を推進する中核的な団体として社協への期待や要請が一層大きくなると思われます。

＊基本理念

わたくしたちは、すべての人が安心して暮らせる福祉のまちづくりの実現により、地域を愛し、地域と共に歩み、住民の幸せをともに喜びあうことを目指して、関係機関・団体及び地域住民との協働により地域福祉の推進を図ります。

平成27年度 収支予算の総額は以下の通りです。

収入予定…336,589千円 支出予定…336,487千円 収支差額…102千円となっています。

昨年から比べると収入は今年度の介護保険報酬改定により▲16,265千円となりました。それに合わせて支出も節約・経費節減を励行する中で事業を実施することになり財政的にとても厳しい状況が予想され、今後このような状況がさらに続くと思われます。そうした中事業の内容や組織の再構築に取り組む必要が早急にあると考えております。

事務局長 仲藤増広

グループホームまめだかな通信



まめだかな しばらくぶりの外出でした
(昼神温泉郷にて)

本当は四月のはやい時期にイチゴ狩りに行く予定でしたが雪が降りましてちよっと見合わせていたんですが二十七日リフトバス二台に分乗して今回は昼神温泉から清内路を回ってきました。かぶちゃん食堂にて昼食をいただき元気に帰ってきました。途中青いコケ生した草原からは空に続く青々とした道が続いているようなふんわりした一日でした。そこを渡ろうとしたん

ですが留まつて戻ってきました。おかえりなさい

社協職員の異動情報

社協では平成二十七年三月三十一日付けで以下の通り人事異動がありましたので報告いたします。退職された皆様方には長年社協のためにご尽力いただきありがとうございます。

退職者

後藤智寿子

近藤 幹雄
(下瀬しあわせ村村長)

湯川 三幸 (サルビア指導員)

熊谷 鉄男 (輸送サービス)

小林 節 (調理)

異動

深見 佳子

(次長兼サルビア 和合福祉村所長)
花井英子

(下瀬 杜のおんがくかい所長)

三鈴 純也 (地域福祉)

平栗真由美 (和合福祉村)

木村 一晃

(サルビア所長補佐)

新規採用

早野友美子

転倒・てんとう・うとんとて・倒転

私の場合

どんなに注意していても 転倒からまめがれません。杖や歩行器、車いすであっても突然私の小脳は私を普通に歩けると思い込んでいます。①車いすのフットレストに足を載せた状態で突然歩き出してしまいました。私は歩いているつもりですが車いすの前のめりになって病院のベッドで大腿部の骨折手術を待っています。

②夜中にトイレに起きて普通に歩いてトイレに座っているつもりでしたが嫁が大声で私を呼ぶので気が付いたらトイレに行き着く前に転倒して失禁し全身冷たくなっている状態で救急車を呼ばれてしまいました。私は普通に歩いていたんだけど、誰かが私を邪魔したンな。

? そうなんですよ私はいつも普通にやっているつもりですよ。でも、いつも気が付くと元気な時の私が私を邪魔していることに誰も気が付いてくれないから いやになっちゃう

職員募集中

熊谷 邦子
村澤 康子

☆地域福祉担当員を募集します
地域福祉に関心のある方
必要資格は社会福祉主事任用

資格ですが、資格は問いません

☆看護師を募集します

デイサービスでの看護業務

☆ケアマネージャー

下瀬しあわせ村での業務が可能なる方

編集後記

阿南町社協の高齢者住宅では残念ながらあらほとんどの方が転倒骨折から救急車で病院そして退所の繰り返しです。

四月二十八日の信濃毎日新聞には長野県の特別養護老人ホームで誤飲の

お婆さんが死亡して職員が訴えられています。

介護職員は転倒や誤嚥という事故から死亡に至るどこかの過程に関係があり、関係を証明できない時又は関係を証明したばかりに罪が確定する可能性におびえなければなりません。

この現実が心が痛みます

(K)